

この指と一まれ（第3回）

平成25年（2013年）8月1日

大中里保育園 園長 塩川恵美子

お盆は家族でお墓参りを！！

大中里保育園で大切にしていること それは日本に伝わる行事を子供たちに伝えるということ。

4月の「晴れの日」の体験・・・ドキドキの新鮮な緊張から始まるのです

入園してきた子供たちに 在園の子供たちに まず伝えることは入園式という晴れの日の体験です。

ちょっとおめかしして（いつもと違う素敵なお洋服・・・だっていつもは泥んこしたり汗をかいたり 絵の具で汚れたりするからおしゃれ着はもったいない。だからすぐ着かえられる T シャツにズボンスタイルで遊んでいるのですから今日は少し気取って・・・。） 緊張して（ママやパパやおじいちゃんおばあちゃんそしてお客様でいっぱいだから） いつもと違う雰囲気背筋がピンの1日。

特別の日は特別のことが待っています。クラスの担当の発表と 大好きなドレミの歌のボードビル・・・ドキドキが子供たちに程よい刺激を与える「晴れの日」は職員も真剣に心を込めて演出もします。

5月はもちろん「こどもの日」・・・子供らしい幸せな時間と空間を

大中里保育園の園庭には子供たちの手作りのこいのぼりと寄付していただいたたくさんのこいのぼりが張り巡らされて子供の日を祝います。プールにはたいようくみが共同作業で作ったこいのぼりが真鯉・緋鯉と一緒に元気よく泳ぎます。このプールは第一回愛育会会長さんがこいのぼりと一緒に寄付してくださって その後も毎年プールを立てにきて終わると石材店に保管してくださっています。クレーン車が来るのも その作業を見るのも子供たちにとっては重要なことなのです。

働く大人・・・クレーンを操る様子をじーっと見つめる目・目・目。憧れがいつしか子供の心に夢を抱かせることになるのだと信じています。

♪ うえからしたからおおかせこい ♪ の大合唱でこいのぼりが泳ぐと歓声が沸き起こってこいのぼりの泳ぐさまを見ている。僕もあんな風に空を自由に泳ぎたいな 泳げたらいいな そんなつぶやきが聞こえてきそうです。元気に育てとこいのぼりの歌が園庭に響く「こどもの日」。

7月は「七夕祭り」・・・家族の幸せを願い 祈りたいね

園児のおじいちゃんが毎年大きな笹竹を運んできてくださって、車から降ろしてみんなで担いで移動。おうちで短冊に願いを書いて 家族で飾りを作って 前日の夕方から笹に飾り始めます。

抱っこしてもらって飾り付けるのがうれしい子供たち。何やら話しながら 満足げに眺めたり 幸せそうな風景が見られる飾り付けの日。1年に一度でいい いーいことがありますように…。

子供たちの今年の願いは かけっこで一番になりたい 上り棒で上まで登れるように 逆上がりができるようになりたい等など。

大人の願いは家族みんなが幸せで 笑って過ごせますように というのが多かったのが印象的でした。

ちなみに私の願いは （そんな子供たちの願いが叶いますように） と （故郷にいる90歳のおとうさんもう少しだけ元気でいてね） と書きました。天の神様に届くといいな。



8月は「お盆を伝えよう」・・・草取りをしたりお線香をあげて手を合わせ命のつながりを

ご先祖さんがあって今の私たちがいる。そのことの意義と命のつながりを伝えたいと考えています。

この命はたくさんの命がつながって生まれ、そしてこれからまた自分たちもつないでいかなければならない大切なものだということを、お墓参りをする事で伝えて欲しいと思います。生まれてきてよかった、大事に育てられているんだと思える事、欲しいものが買え、食べたいものが食べられる幸せ。それは昔の人が歯を食いしばって頑張ってくれたからできるということ伝えて、感謝したい日です。

みんなでお墓の草取りをして線香をあげ手を合わせてありがとうを言葉にしてみましょう。

子ども達にもキュウリやナスで作ったお馬さんに乗ってご先祖さんが帰ってこられるのよと話してあげましょう。今年はぜひお馬さんを子どもと一緒に作ってみませんか？！



追記：

上記のお馬さんを参考にしてください。材料はおうちにあるもので。。。

キュウリやナスやピーマンに小さなトマトで顔を作ったり・・・

足は割り箸や爪楊枝を使います

ちなみに お供え物は ・香（線香） ・灯り（ろうそく） ・花 ・水 ・食べ物

食べ物には蓮の葉にナスやキュウリをサイの目にきざんで、洗ったお米を混ぜて蓮の葉に盛ったりするようです。

もひとつおまけに・・・

みなさんご存知でしょうが、ろうそくを息で消すのはマナー違反です。

子ども達にも伝えていけたらいいですね。

